

市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年7月16日（火） 10時30分～12時00分

場 所：コミュニティセンター下和田会館集会室

テ ー マ：新総合計画及び市政全般

参加人数：26人

○参加者からの意見等

【意見】

- ・ 大和市のUSP（Unique Selling Proposition＝商品やサービスが持つ独自の強みや価値を明確に表現したもの）とは何か。
- ・ 新しい総合計画の行政経営の方針の中で、社会の変化にチャレンジする「攻め」と、市民にとって真に必要な施策の取捨選択を図って健全な財政を維持する「守り」という話があったが、市長は自治会に対してどのような考え、どのような位置付け、どのような支援を考えているか。

【市長】

- ・ 昨年度の10月にマーケティング課を設置したのは、USP、大和市の強みを把握していくためでもある。
- ・ 幸福度調査、現地現場広聴活動、タウンミーティングで、様々な声や考え方を収集しており、意見を所管課につなげるだけでなく、内容を分析した上で全庁的に展開している。
- ・ よいものを学び、大和市に見合ったものにつなげることを目指しており、人口増加率6年連続全国1位（2016～2021年）の流山市井崎市長に直接連絡し、マーケティング課、政策部、街づくり施設部に視察させている。
- ・ 大和市の強みは色々あるが私が推しているのは“災害に強いまち”である。
- ・ 関東大震災では、当時の技術で建てられた家屋が約660の中で、あの地震で倒れたのは約1割程度と言われており、地盤が強いことで厚木基地や鉄道ができた。
- ・ 小児科や産婦人科が充実している市立病院、市内8駅、鉄道3路線が通る交通利便性なども強みである。
- ・ こういった分析をマーケティング課とともにしており、企業や若者などに選んでもらえるまちにつなげていきたい。
- ・ 大和市は人口24万、厚木市は人口22万と人口規模は大和市の方が大きいのだが、財政力指数は厚木市の方が高いので、企業誘致を積極的に行っていきたい。
- ・ 自治会については、私は宝と考えている。
- ・ 災害時に秩序が保たれ暴動や略奪が起こらず、人と人が協力し合って共助を行えるのは、自治会を中心とした地域コミュニティの力である。
- ・ 現在、自治会加入率が下がっており、地域の皆さんがお困りの状況であることは重々承知している。

- ・自治会加入率を向上させるため、市として啓発に力を入れていく。
- ・Y o u T u b eやT i k T o kの動画、ネット検索でヒットするページには自治会に関するネガティブな情報が溢れている。
- ・災害時など自治会が本当に必要であること、自治会に入るメリットなどをもっと強力に発信していかなければならないと考えている。
- ・待ちの姿勢、守りではなく、自治会加入を促進する、もっと攻めた啓発活動を行っていく。
- ・全国には自治会加入に関して成功している自治体があるので、先進的な事例を学び、加入率アップ、携わる皆さんの負担軽減などにつなげていく。

【意見】

- ・高等町第1自治会の区域内に、「みどりの広場4号」がある。
- ・区域内の緑の広場の中で一番古く、以前から自治会で維持管理をしており、広場の平面部を年2回、草刈り・清掃を実施している。
- ・広場の東側にある法面については、公園管理事務所が実施していたのだが、今年から、全てのエリアを自治会で実施して欲しいとの連絡があった。
- ・法面は急角度で怪我の危険性もあり、何とか市で対応してくれないかと伝えたところ、緑の広場は自治会が管理することを前提に市が民地を借りて、地域に広場として開放しているので、自治会で対応が難しいなら指定を解除すると言われた。
- ・総合計画の説明の中で、人口密度が高いとあったが、貴重な緑を市と地域が協力して保全していくべきではないか。

【市長】

- ・緑の広場は、自治会が維持管理する前提で、他の緑の広場を管理する自治会との公平性を保つ必要があることはご理解いただきたい。
- ・自治会の皆さんが維持管理する上で危険なところについては、市側で対応できるようにしていきたい。
- ・住宅側に隣接する東側斜面については、例えば防草シートを設置するなど、出来る範囲の対応をするよう所管課に指示する。

【意見】

- ・リサイクルステーションの担当を雨の日も風の日も25年間続けている。
- ・環境管理センターからもらった持ち去り禁止やポイ捨ての看板を、自治会区域の8カ所に取り付けることもしている。
- ・人手不足で4か所担当しているが月4000円の手当では割に合わない。
- ・処遇の改善、戸別回収など、地域の負担軽減を図ってほしい。

【市長】

- ・自治会の皆さまに資源リサイクルステーションの維持管理をしていただいていることに感謝申し上げます。
- ・リサイクルステーションについては、タウンミーティングで毎回意見をいた

だいており、自治会未加入の市民も利用することによる不公平感、管理していただく方の成り手不足、高齢の方が距離のある場所まで行きにくいこと、戸別回収のご要望など、様々な声があることを関係する所管課と情報共有し、対応の可否について検討させていただく。

- ・ すぐに解決することは難しいが、地域を限定して改善策を試すなど、出来るところから着手していく。

【意見】

- ・ 民生委員をしており、高齢の方から多くの意見が寄せられているので、代表して意見をお伝えする。
- ・ 国道467号線は歩道の拡幅整備が進んでいるので、背もたれ付きの椅子、ちょっとした花壇を設置して欲しい。
- ・ いちよう団地から駅に向かう神奈中バスは運賃が200円以上かかる。
- ・ 高齢化が進み運転免許証を自主返納する方も増えてきているので、市が補助する形で運賃をコミュニティバスと同じ100円にして欲しい。
- ・ デジタル商品券について、紙でも対応して欲しい。

【市長】

- ・ 国道への椅子や花壇の設置については、所管課に情報提供し、管理する県土木事務所にお伝えする。
- ・ バスの運賃については、高齢の方を対象に、所得制限を設ける必要はあるが、
- ・ 定額パスのような形ができないか検討している。
- ・ 高齢の方の外出機会の創出は、健康寿命を延ばすことにもつながるので、様々な観点から検討を進めていく。
- ・ デジタル商品券は国の交付金100%で、DXを推進する国の意向であるため、機会を捉えてデジタルが使えない方の声もあることを国に伝えていく。

【意見】

- ・ 自治会の催事で小学校体育館を借りたのだが、暑すぎて催事を中止した。
- ・ 夏場は窓を開けても熱風が吹き込む危険な暑さであるため、避難生活施設となる学校体育館に空調を整備して欲しい。
- ・ 防犯カメラの設置が進んでいるが、私の家の周辺には設置されていない。
- ・ 自治会長を通じて要望を出したが何の変化もない。
- ・ 防犯カメラの設置について、今後どのように考えているのか。

【市長】

- ・ 市内小中学校は災害時の避難生活施設になるので、空調が必要であることは重々承知しており、令和6年6月議会において設計業務委託の補正予算の承認をいただいている。来年度以降5か年計画で、未設置の中学校、小学校の順に空調を整備していく。
- ・ 東日本大震災、熊本地震など、災害の度に様々な教訓があったが、能登半島地震では上下水道の被害が生活に直結する大きな課題となったので、大和市

の災害対策強化のひとつとして、防災井戸の設置を進めている。

- ・ 街頭防犯カメラについては、県下でもトップクラスの設置数で、不特定多数の者が往来する道路、駅前広場など公共の場所を中心に設置しており、今後も犯罪の抑止につながる場所に順次設置していきたい。
- ・ 街頭防犯カメラの運用面では、昨年度「大和市街頭防犯カメラ映像に係る捜査目的の提供などに関する協定」を締結しており、大和警察署と連携を図りながら、効果的な運用を図っていく。
- ・ 市の街頭防犯カメラは高価かつ公共の場所に設置するものなので、市民の方が自主的に設置した防犯カメラ設置費用の一部を助成する方法も含めて、所管課と一緒に検討していきたい。

【意見】

- ・ 国道４６７号線に関して、歩道拡幅工事が止まっている箇所がある。
- ・ 拡幅工事の進捗についてお聞きしたい。

【市長】

- ・ 国道４６７号線の管理は県土木管理事務所なので、工事の進捗について確認してご連絡する。

【意見】

- ・ 高座渋谷のイオン大和店の立体駐車場出入口がある北側道路は、横断歩道、一時停止などの路面標示が薄くて見えず、藤沢街道旧道との交差点で事故が多い。
- ・ 市内には他にも同じように路面標示が見えない場所がある。
- ・ 一部警察の所管であることは承知しているが、歩行者の安全のために対処して欲しい。

【市長】

- ・ 横断歩道や規制などの道路標示は神奈川県公安委員会が、区画線は道路管理者が設置している。
- ・ 交通安全に関しては警察と連携しているので、ご指摘の箇所についても関係する所管課と情報共有し、警察と連携して対応していく。
- ・ 道路に関する要望は非常に多く届いており、現場確認、調書作成など膨大な事務を行っているので、今後は、こういったところのDXを推進することも含めて、適切な管理を行っていきたい。
- ・ 例えば、道路に関する要望を市に電話で伝えるのではなくて、スマホで写真を添付して送信できるようにすることも検討していきたい。

【意見】

- ・ 障がい福祉課の窓口について、平日のみ開いているので、仕事を休まないと利用できない。土日に窓口を開けることは可能か。
- ・ 利用している地域活動支援センターは下の階が民間の店舗で、歩く音に関す

る苦情が届くと職員から聞いたので、地域活動支援センターに予算をもっと割いて、周りに迷惑がかからない場所に移転するなど対応して欲しい。

- ・ タウンミーティングについて、土日や夜間に開催して若い世代が参加できるようにしていただきたい。

【市長】

- ・ 障がい福祉課の土日開庁、地域活動支援センターに関するご意見について、関係する所管課に情報提供し、対応の可否について検討させていただく。
- ・ 今回のタウンミーティングは、新総合計画の策定に向けた意見聴取の場として開催している。
- ・ 本日で19回目となるが、これまで土日7回、夜間3回実施している。
- ・ 新総合計画の策定が終わった後も、継続して実施していくので、幅広い世代に参加していただけるよう開催方法を工夫していく。
- ・ また、タウンミーティング以外に、こどもミーティング、こども議会といったことも実施していきたいと考えている。

【意見】

- ・ 下和田コミセンから国道467号線に続く道（緑橋山谷線）について、コミセンから西側の区間の歩道がとても狭い。
- ・ 歩道の内側に電柱が立っている箇所は特に狭く、通学路に使われていることもあり、歩行者の安全のためにも歩道を拡幅して欲しい。

【市長】

- ・ 市内の他の場所になるが、歩道脇の雑草が生い茂って通れない状況の箇所もあり、歩道については頭を悩ませており、道路整備計画に通学路の歩道を確保することを落とし込めないか検討を続けている。
- ・ 歩行者、児童生徒の安全確保の視点を道路整備計画に盛り込んでいく。
- ・ ご指摘の箇所については、現場を確認したうえで対応の可否について検討させていただく。

【意見】

- ・ ゆとりの森テニスコートを利用するには、ネット予約して使用する前に利用料を支払っており、キャンセルする場合、後日返金の手続きが必要となる。
- ・ スポーツ施設全般について、海老名市や厚木市と同じように、ネットで予約して利用時に支払う形にして欲しい。
- ・ 当日キャンセルの問題もあるが、海老名市や厚木市はそれを防ぐためにペナルティを科しており、同様の対応は可能と考える。

【市長】

- ・ スポーツ施設の予約に関するご指摘の課題については、市長になる前から承知しており、折に触れて要望していた。
- ・ このことは、市長になってからも所管課と話し合いを続けており、学校開放も含めて、手続きを簡素化できるようにしていく。

- ・ 将来的には、子どもたちがスポーツをしたいと思ったら、施設に空きがあれば、当日でも気軽に利用できるようにしていきたい。
- ・ ご意見について、関係する所管課に情報提供し、海老名市や厚木市などの事例も参考に、対応の可否について検討していく。

【意見】

- ・ 学校体育館の空調設置について、なぜ中学校を優先するのか。

【市長】

- ・ 予算の関係で全校一気に設置することは難しいため、中学校9校で大和市全体をカバーしていること、体育館の大きさも小学校より大きいこと、部活動により体育館の使用頻度が高いことなどから中学校を優先している。
- ・ 時間はかかってしまうが、国の補助金も活用することにより市の財政負担を圧縮しながら全校の空調設置を進めていくのでご理解いただきたい。

【市長指示】

- ・ 国道467号線の歩道拡幅工事の進捗について県に確認した結果を発言者にお伝えすること。
⇒道路安全対策課が県厚木土木事務所東部センターに確認。用地取得に時間を要しているが事業は進んでおり完成に向かっているとのこと。マーケティング課からご本人様に連絡済み。